

木更津支部

の圖い

写真で見る



前照灯

特別号

1980.8.1

万国の労働者
団結せよ。

葉千労動部
木更津支部
青年部

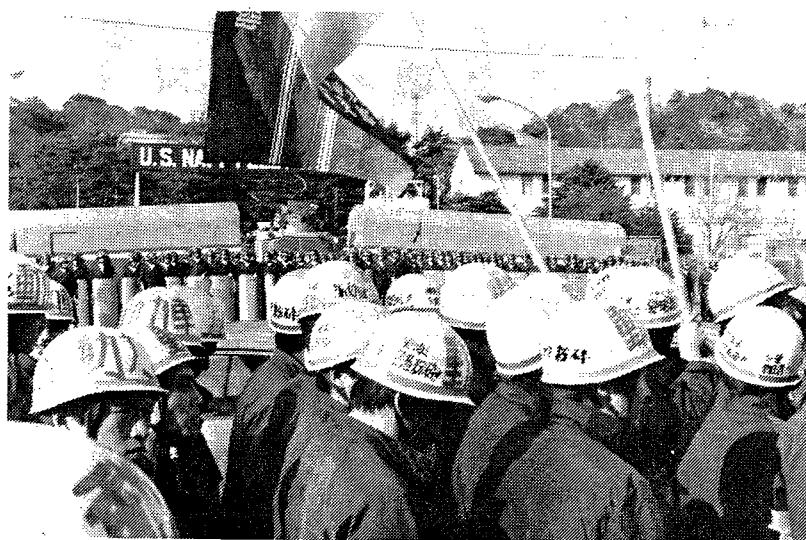
はじめに

日光で開催された、関東青年部定期委員会一二名・大分で開催された全国青年部委員会一一名・そして、オ三十四回労働本部全国大会のぼうちょうには、三名の青年部員を送り込んだ。送り込むにさして、支部組合員の多額のカンパを寄せられた事に対して、厚くお礼を申し上げる所だいです。そして、我々労働干葉が支部總体をも包み込んで、勝ちとられてきた。

一九七八年八月、津山でのオ三十四回労働全国大会での良心的代議員ぼうちょう者に対する、あの暴力、どうかつによる松崎リカクマル一派の引き回しによる労働私物化に対し、真向から労働干葉はこの大会にのぞんだ。敵と暴力とどうかつによる斗争労働者に対する大裏切りを方針として打ち出したのである。全代議員の三分の一以上の反対者がいたにも関わらず、聞く耳を持たず圧殺してきた。我々はこの二ことに對し、はげしく怒りも新たに、え・一六三里塚に登々と登場したのである。

一九七八年、十二・一三全連支援半日ストを境にして、我々労働干葉木更津支部青年部へ活気あふれる職場生産点からのすさまじい斗いが日の出の勢いのごとく飛びだした。かつては青年部員数一、二人であつたが、この時には六人に成長してきただのである。そして、会館防衛・組織

破壊オルゲを粉砕し、結成大会をもって新たな労働運動へ一大潮流の柱、労働干葉に結集し木更津支部を一〇〇ペー、セントへ署名を集め、結成してきただのである。ニヘ職場生産点を基軸として、勝利してきた斗争の歴史へ一部を新刊した「なまけ」のバネとするために発刊した。



1980.2.24 横須賀リムパック粉砕集会

木更津支部青年部も総決起した。

第18回全国青年部定期委員会参加感想

私が第十八回動労青年部定期委員会に参加して感じた事は大きく分けて、「議事進行について」「干葉問題について」ということでした。議事進行に關しては普通、民主主義の原則に基いて行なわれるので、感想を書くのは危険だと思い、関しては普通、民主主義の原則に基いて行なわれるので、感想を書くのは危険だと思い、

なんですが、動労の全国委員会ともあろう所で、これらが守られていないという所に正直いって驚いてしまいました。総括的質疑の時、新潟、北陸の代議員の発言の後、千葉の代議員が手を挙げて「もろにも関わらず、議長曰くはこれを無視して答弁に入ってしまった」だより、発言は七分以内と決めていたながら、他地域の代議員に対して何も「わなかつたり」で、ちょつと信じられないような非常識きわまりない議事進行でした。暗に千葉に発言させたくなかったり、発言してもう一つは困るという意図が働いていました。これは事実としてもあまりにもひどいもので、三星塚反対同盟と「一線を画す」などといつた発言が出て来るといふことはありましたが、その根源を見た感じでした。

第二に干葉問題という事なんですが、これは干葉問題といふよりも子集以外の問題といつた発言が出て来るといふべきもので、他地本・中央本部は頭を走らした方がいい

いのではありませんかと思います。まあこの問題は、水本事件と三里塚問題とに大別されると思いますが、水本事件に対する予備知識があまりないので、感想を書くのは危険だと思い、ますから、今回は見送らせてもらいます。

次に、三里塚空港問題ですが、方針書には「ジエット燃料貨車輸送阻止の闘い」を三日一日における佐倉、成田の両支部のストライキを中心にして闘うことにより、中央本部は一応の集約をはかったのである、と書かれているわけなんですが、「一元の集約」とか「一線を画す」などと言つた、地本、農民を無視した発言が出てくるのはなぜなのでしょうか? こう考えてくる時、三里塚闘争に敵対するものが、中央本部あるいは地本に存在しているという事が私にも見えたのでした。こうした圧迫に対して、千葉地本は終始方針を変えず、三里塚芝山連合空港反対同盟と連帯してきたことは立派だったと思します。

代議員の発言も非常識なものがありましたが、そうした中で、岡山と仙台における部落解放同盟との連帯、仙台における三里塚ジエット輸送阻止集会など良識ある行動は、全国各地で住民運動をしている人々に大きな力となると思います。

最後に千葉地本の動労内での位置



我々の城木更津支所
組合事務所

を考える時、私は江戸幕府末期の長州藩が思い浮かんでくるのです。当時長州藩は幕府に対しても、ただ一藩で反抗し蛤御門の変、四ヶ国連合艦隊に当初破れたとはいえ、石州口などの戦いで幕軍を破つてからは、その余波が鳥羽伏見の戦い戊辰戦争へと続いて幕府を瓦解させ、ついに明治維新を完成させたのは歴史の上で重要な位置を持つ、といふとこれでいえます。置き換えれば長州藩は千葉地本であるし、鳥羽伏見の戦いの土佐藩、薩摩藩は仙台、岡山であると言えます。当時が尊皇なうば、現代は三里塚闘争の尊皇であるし、専民であると言えるのではないでしょか。私は定期委員会に参加して動労内の内実を見た時、二のようを感じ動労内の辰戦争が直ぐにまできていたことを認めたのでした。

一九七八年七月記



79' 9.16 三里塚に発起した
青年部

労働第34回全国大会における集団暴行とファッショ的大会運営を弾劾する

我々はこの間あらゆるすべ
ての困難を排し、三里塚ジエ
ット闘争を果敢に闘い抜いて
きた。特に昨年十二月三日よ
り闘われてきた百日間強力減
産闘争は権力、国鉄当局、反
動分子リ革マル永の敵対破壊
策動を粉碎して闘いとつてキ
だ。ニム開^ノは日本の労働運
動を変革する開^ノであり、一
戦闘的階級的運動の構築^ノ我
々が血みどりになつて闘つてき
た二つの成果を二ともあろうに
労働全国大会の名において
三里塚空港反対同盟と一線を
画する「なる方針を暴力的、
ファッショ的議事運営、採決
をもつて決定する」ということ
は労働組合ではあるはずなら
ぬことである。ましてや議
論など全くなく革マル永機関
紙一解放^ノの引き写しと思わ
れるような主張をしていろ。
あろうことが革マル永は、千
葉地本破壊のためにかみシテバ
じきを千葉地本組合員の家庭
に脅威突入前、突入中の二度
に渡り送付しつづくという事
をやつている。このことは労
第四万七千人組合員に敵対す
る何ものでもない。このことは
は三里塚闘争を否定し、破壊
するための論理であり、政府
空港公团と同じ立場でなければ
いえない。日共・鉄労以下

である^ノとはまちがいのない事実で
ある。ましてや「貨物運送宣言」な
る方針を打ち出すにいたってはなに
をかいわんやである。組合自から「
スト放棄」を宣言する事でありこの
ような方針では絶対に我々の要求権
利はとれないと。又大会会議終了後^ノ
千葉地本代議員、傍聴者に対する集
団テロ、暴行は断じて許されない。
労働運動の戦闘的、階級的、民主的
組合再生に向けて我々は全国の闘う
仲間と袂に断固としてその最先頭で
闘い抜くことを宣言する。

一九七八年八月十五日

労働千葉地本木更津支局

全国大会報告集会

青年部



79' 11.11 故戸村東見作委員長

“戸田村卓と共に進まん”！ -4-

前照灯

1979. 1. 27

No 3

行

動力車労組子葉地区
本更津支部青年部

統制処分を

許すな!

全力体制!

地本防衛へ

一回定期中の地本役員会設置。統制処分策動あるいは昨年度の全国青年部長会議、全員活動者会議で明らかにこれまでより地青3役に対する執行権停止攻撃等。

この様な事態を本更津支部青年部は、六名と少數ではあります。が昨年末から新春早々なげて、それで真剣に考え方討論し確認し合っております。

この間子葉地区本が進めて来た一連の運動は、全く正しかったという事を全員が確認しておるのである。

12.13スト貫徹

支部を守れ!

- 5 -

現在の本更津支部青年部の發展は不可欠のものとして昨年度の12.13全通支援郵政マル生粉碎ストがあつたと思ひ、12.13ストは青年部としてかうなつた決意と勢いで前夜集会からのストを圧倒的貫徹して來たのである。

この自信が支部青年部を發展させるとともに、青年部親組合の強固な決意をも作って来たのも事実であります。

前夜集会での支部長の決意表明が私たちの全てであると思ふます。
この間の子葉の運動は正しかった統制処分・執行権停止はもちろん全国オルダなど許せない。

統制処分廢止運動粉碎!

がんばりましょう!!

一九青年隊統決起集会に支部青年部は全員で参加し、某会で確認され地本防衛体例にも積極的に取り組んで来ました。

本更津は少數ながら週三回一日二名、青年隊として地本に送り込みました。

それ以来防衛体例を経験し又、

経験して来た事を支部で活し合い、実践させ行なうと心がけて来て

わけです。

数としては大、一た数ではないと思われるのでしょくが実質約30%であります。12.13ストで發展した成果がここでも表めて来たのだと確認され、こうなる發展、進歩を戒尺は突き進むものです。

本更津支部青年部は、支部の最先頭に立て、支部を守り抜き各支部青年隊と共に、強固な決意をもて地本を守り支部を守る奮闘して行こう!!

労働本部暴力オルグ回粉碎！

79.3.12

- ① 聚会への組織破壊オルグ粉碎！
- ② 一四〇〇組合員の強固な団結で一切の反動を粉碎しよう！
- ③ 闘う労働千葉へ結集せよ！
- ④ 労働大改革運動を強化・発展・推進させよう！

この大力ンバンにこそ、我々の闘いの意氣がある。

青年部は、錦糸町として津田沼襲撃に対して、怒りの大力ンバンとチカラによりビラハリ行動を貫徹した。我々のこの戸舎をビラで埋めつくした迫力の前に、労働一本部「暴力オルグ団は、感場へ一步も介入できなかつたのである！

4. 11 総評者年協主催集金に参加しようとした、労働千葉に対する錦糸町襲撃、4. 17 労働千葉の最大拠点である津田沼襲撃を頂点として、労働者常識をえた労働一本部「暴力介入は日増しに激裂となつてきだ！こうした状況をしつかりとは握し、木更津支部は敢然とオルグ団の介入を許さない支都防衛体制へと



乗入しました！

労働一本部の、貨物安定宣言、水本也クト運動、合理化服路線では、動力車感場の将来はない我々の力で労働大改革を勝ちとろう！



79.3.19 10 破壊オルグを糾撲するために出日銀行部を中心とする

動労「本部」暴力オルグ団が、連日各支部へ職場介入押しかけオルグをしかけてくる。

我々はこんなオルグなど許さない青年部・組合員は全力で立ち上がり

リ

①千葉地本第三十二回臨時大会四大方針を断固支持する！

②3・25三里塚集会に圧倒的に登場し・全国の闘う仲間同志に檄を発するぞ！

③貨物安定宣言を訴すな！

第三十四回勤労連山大会において、「三里塚闘争とは一線を画す」なる方針をゴリ押し決定し、9・16三里塚集会に独自集会をもつて労農連帯を守った千葉に対し、執行権停止・統制处分なる攻撃を動労「本部」はかけてきた。

「千葉再建に向けガンバロー」

「裏切り者に自由はない」

など訴しがた「暴言」をいた動労「本部」・青木書記長・城石組織部長に対しても、怒りのビラが構内いたる所にはられた。

という大カンバンを店舗二階に押したて・オルグ団粉碎の決意を明らかにした！



全組合員一丸となつて

破壊オルグ粉碎!

79
3/19~20



勤労「本部」「革マル」石田を先頭に50名の
暴力破壊オルグ集団を木更津支部全組
会員が結集してこれを粉碎！

79.4.20

3.19 5.20、勤労千葉破壊オルグ、4.4.リ浦糸町持伏せ襲撃、4.4.17 石田沿襲撃を頂点とした、勤労「本部」暴力オルグ団は、七十九年四月二十日木更津支部へ勤労「本部」石田を先頭に五十名という暴力破壊分子を引きつれて、我々の職場に介入してきたが、支部長を先頭に斤舎二階で暴力オルグ団と対峙し、絶対に屈しない姿勢を示したのである。勤労「本部」暴力オルグ団は、こうした我々の来意の前に、ウロタエなんと、我々のビラをすべてはがし、貼った

三枚だが絶対に許しがた、「千葉地本再建力」新聞なるものをガムテークではつい「た。その内容たるや、まさにデマとデマチ上げの中味のないものである。この勤労「本部」反勤労破壊集団の本はこへして各支部への暴力的介入策動の中から、次々と良心的な勤労組合員へ目と口から全国へ明らかとなり、我々勤労千葉への支援連帯が高まつてとなつていつたのである。我々はこれからも、一方で勤労「本部」反勤労破壊集団「革マル」と対峙し、一方では国鉄当局、権力と対峙しながら、国鉄三十五万人体制合理化に攻撃との闘い、5.5.3.3.シエット期限切れの闘い、三里塚軍事空港廻りへの闘いとして勤労大改革を勝ちとり、階級的・労働運動の戦闘的・再生を勝ちとる闘いへと総決起していかなければならぬ。

それが我々青年部に課せられた任務である。



動労千葉木更津支部を

全組合員の総意をもつて結成

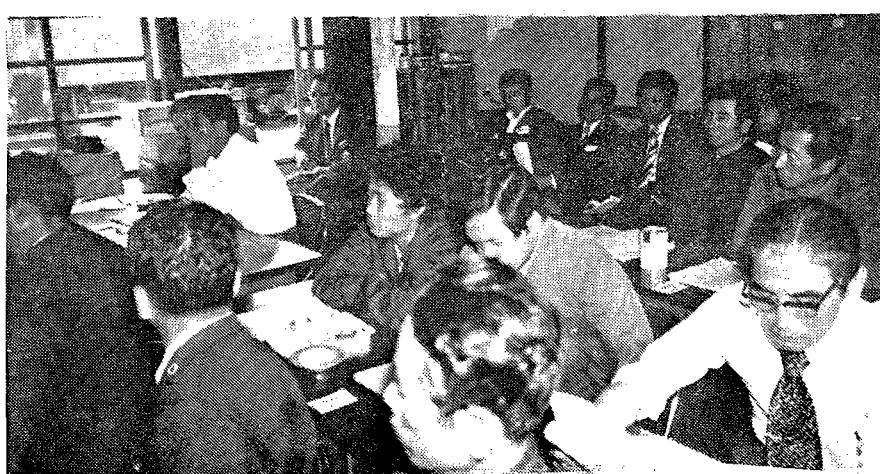
79.4.25

3. 30動労千葉結成以降木更津支
部は、全組合員が団結署名をし、
動労千葉へ結集することを確認し
た。そして木更津支部結成大会に
は、中江前動労本部副委員長を来
賓として向かえ動労内外の情勢と
問題点を聞く中から全組合員の総
意をもつて動労千葉への結集を高
らかに宣言したのである。動労
本部へ反動暴力集団の支部破壊オ
ルグ、そして家庭オルグをも完全
に廃止して来た力が、この支部結
成大会に表われている。



◎ 木更津支部結成大会開催
記念文書
（略）

か引満
ルんに
マケ信
車り、自
ニ守も
部ら頬
本かの
剪撃部
動攻早
を壊す。
部破、ハ
支織員3
連組役明
更のたて
木らしち



宣

言

(系)

一、 本日、我々は、幾多の困難を乗り越え、国鉄千葉動力車労働組合本東津支部青年部を結成し、八〇年代に向いた戦闘的労働運動への新たな歴史的前途を全青年部員の懸念を持って我々は内外へ宣言し得るのである。

昨年末以来の労働革マルとそれを追随する一部反効命子による組織碎壊及奪との廻は、さて、最も嚴重な武線を天下一人一人へ、ニーフケルものである。だが我々は、四一二錦糸町、四二七津田沼支部への労働革マルの卑劣極まりない暴力的襲撃に対する多くの犠牲と流血を恐れず奮闘しめくこととおやう労働千葉の名誉を守り抜き、一四〇〇の戦闘的魂を内外に向かって鮮烈に示し大のである。

二、 二の勝利をテコヒテ、四月二六日から四日間、連日千石を越える組織碎壊「カルア團」と対決し、労働革マルと牛耳られ本部による「再建策動」を完全に粉砕し大勝利をえたところである。

三、 動労革マルは、千葉碎壊の遂くのサ・春肉を裏切り、デマと恫喝で「指令 指示」を乱発し、全国から良心的組合員を千葉碎壊に強制労員し、組合員の汗の結晶なる組合費を私物化し、湯水の如く使用するという、反効的ゼット的行為を行なう所である。こゝレバ不正義の千葉碎壊に対する労働千葉の勝利的前途は、全国から廣範な決起を生じて、いか。

わが労働大改革の大方针は、全国の良心的組合員の心をどう大、労働革マル一掃への巨大な奔流を創玉しつつあるのだ。

四、 八〇年代の巻頭くあだそ、労働運動が「賢賀化」を顧地へと大きく傾斜する中、八〇年代の戦闘的團結とその廻は、風唇の現状くくびを打ち込む戦闘的再生への展望を大きく切り拓くのである。

五、 三里塚農民との階級的連帯の締ミシカリと掲げ、ジット團等貢献へと廻へ抜く、一四〇〇の廻は、東京サミットを階級環として、侵略戦争へと走る日本帝国主義と対決する労働者階級の一大橋頭堡を築くものである。

わが労働千葉の廻は、労働内外の想い注目の中で、新たに飛躍へと前途を開拓し大。それが如何に困難と苦難を経たものであらうと、それが労働者階級の正義を貫くものである以上、我々は、あえて、茨の道を歩む覚悟である。

青年行動隊結成以降の青年部運動の前途は、如何なる困難をも打ち破る勝利の確信と勇気を我々に与えて、ゐる。

労働千葉の飛躍的前途の機は、起り次第、

労働革マルを一掃し、労働大改革へ！

労働運動の戦闘的再生へ！ 努力労働の戦闘的伝統を継承し、真紅の歓輪旗を高くおいて、今こそ全青年部員の終決起を勝ちとこう！

左、宣言する。

動労千葉木更津支部
青年部結成大会

79.6.7

動労千葉木更津支部青年部結成大会は、来賓として有職支部長を向かえ、大成功を勝ちとった。

9・16三里塚現地集会参加をめぐる執行権停止処分以降、動労「本部」反動暴力集団との激烈な組織攻防戦に突入し青年部は地本会館防衛闘争支部防衛闘争にと全力をあげて総決起してきた。二の組織攻防戦を闘い抜いた木更津支部青年部は、まさにかってない青年運動への高揚と飛躍を勝ち取つて立たへである。



全青年部員の闘いに勝利して立たれた・真剣で明るい表情は印象的であるといえる。

時記すべきことは青年部負敵大人で、二人一組となり週三回の夜の会館防衛闘争を確実に担い抜いた事である。

動労干葉サークル協主催イモ掘り大会

79.7.1

三里塚にて！



◎豊は
農作業
きま
そよつ
うたのわ
て「も
かお
いもす」

動労干葉サークル協主催、イモ掘り大会が三里塚空港反対同盟、石橋副委員長ヘジャガイモ畑で行われた。動労干葉と反対同盟との連携をさらに強めることともに、三里塚空港の実態を知る意義深い交流会、木、根の風車見学等をしてきた。この耳をつんざくようなジエット機の音、この現実を見るのは、三里塚には空港はない。この緑の大田地と、澄みきった青空を三里塚の農民の手に返せと、大声で空港に向って叫んだ。又日頃こころに機会のない組合員、家族とともに楽しいイモ掘りであった。

青年部主催サマーキャンプ

79・7・21

青年部主催サマーキャンプは、
富浦海岸において、青年部、組合
員、家族が多數参加して、楽しく
友好を深めた。

今回も元気だ、ビールがうまい♪
飲んで、食べて、歌って、最高の
長分♪



-14-



◎かしまし三人娘、食事のはずな時は、
ムダ口だたかず、真剣です♪

◎おい早く
鉄板焼ソバ ソースかけ!
ちうすぐできよ!



79・7・21

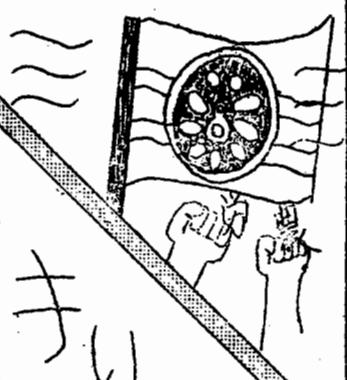
前照燈

NO.5
1979
7.31

責任者

木更津支部青年部教宣部
国鉄千葉動力車労働組合
木更津支部青年部教宣部

千葉市民会館



さりげなく
こうづめる闘うかん声

80年代

闘う全人民・労組
2000名大結集。

闘いは成功している。」この発言
を我々は、しっかりと受けとめ
なければいけない！

さくらなる労働大改革へ。

大集会は、三里塚二期工事強行反対・ジェット燃料増送阻止・労働運動の戦闘的再生をめざすメインテーマをかかげて、闘う全人民の結集により、圧倒的に大成功した。

大集会は、反対同盟・北原一郎事務局長の司会により始まり、支援共斗会議・三里塚癒港宣言の会・女川反対同盟・津縄民権の会・日本原農民の代表など、各方面の大衆運動・闘争の報告と今集会への連帯の挨拶を受けた。特に日本原農民・鷲田さんの経験による怒言、つかつかと運動の中で、彈圧がさびしい程、

反対同盟の後、さらく会場のホールテージは上がり、我々労働千葉本部・関川委員長・中野書記長の挨拶と経過報告、そして前労働本部副委員長・中江さんの挨拶を受け、9支部の代表が全体に紹介された。

105定期中の10地本工赤斜の決議、橋本さんの決起とみられるように我々の労働大改革運動は着実に前進している。

80年代を我々の闘いで、きりひらくこう。

この間の、本部革マリーネ反動分子との対立を粉碎し、その成果をもつて、この集会が勝ち取られた意義は大きいと思うし、全國の闘う労働者への敬意になつたと思う。

とりわけ三里塚二期工事の開工に際しては、木更津支社の労働組合員が奮闘したことは、我々青年部員の心に刻まれるようだ。

木更津支社の労働組合員は、この闘いに奮闘しなければならない。彼らは、役者ですね。

国民大集会大成功！

この間の、本部革マリーネ反動分子との対立を粉碎し、その成果をもつて、この集会が勝ち取られた意義は大きいと思うし、全國の闘う労働者への敬意になつたと思う。

とりわけ三里塚二期工事の開工に際しては、木更津支社の労働組合員が奮闘したことは、我々青年部員の心に刻まれるようだ。

支部の最先頭へ

前照
火

N.O.6
1979
9.28
責任発行

国鉄千葉動力車労働組合
木更津支部青年部教室部

阻止闘争へ！ ジェット増送

支部の最先頭へ

9・16集会大成功

二期工事決戦を向かえ、不退転の決意で闘う反対同盟と、それを支援、連帯する全人民、労組の大結集により、9・16集会は圧倒的に成功した。

我々労働千葉も250名の大勧募で今集会へのぞみ、ジェット増送阻止への決意を新たにしてきたところである。

今回まくの三里塚闘争へ初めて参加した、新組合員II青年部員の感想文を掲載したいと願います。

9・16集会へ参加して、

この春、国鉄に入社したばかりでまだ国鉄の事は、何もわからぬままでした。集会に参加するのは初めてですが、9・16集会に参加しました。集会に参加するのは初めての事だったので、行く途中は不安と好奇心でいっぱいでした。まず、勢いよく三里塚に行く途中で何人もの機動隊に会つたことがあります。

機動隊を見た時は、異様な緊迫感を感じました。

次に驚いたのは、三里塚の集会に集つた人達の数の多さです。みんな必死に闘つてゐるのだと思ひました。とにかく自分とつて初めての事ばかりなので、おどおどしてしまったが、先輩達から勇氣と指導してくれたので、とてもうれしかったです。

最後に、この集会に参加して、自分にとって、とても勉強になりました。労農連帯ガス

二月に入社して集会など今まで、集会に参加するのは初めての事だったので、行く途中は不安と好奇心でいっぱいでした。まず、勢いよく三里塚に行く途中で何人もの機動隊に会つたことがあります。

機動隊を見た時は、異様な緊迫感を感じました。

この4月に入社して集会などに参加するのが初めてでどんなことをするのか、場所は、どのような事をしているのか不審でした。

集会については労働千葉の新聞などで読みだりしていくので少しはわかっているつもりだ。だけれど、実際に行ってみると、自分が思つていた以上にすごかつたです。まず第一に、機動隊の人数は、驚きました。耳の前でこんな多くの機動隊員を見るのは、初めてだ。たので、少し恐しかったです。演説の内容は、あまりわからなかつたけれど演説を聞いている他の人達を見てみると、みんな一致団結しているのがわかりました。終りに、この9・16集会に参加して、自分自身が、いろいろと勉強になりました。

動労十葉団結祭

79・11・3

木更津支部は、少數なりといえども
団結祭には毎回大健斗している。

若い力を出し切つて快走する青年部、
老骨にムチ打つて力走する組合員、二
の連帯こそ木更津支部の力だ！

ところで木更津支部は、どこへ行
ても用意がいい。弁当、ビールは持参、
これぞ木更津型サークル運動の極地！
カニビール一本ではたりない。たりな
い。



前照灯

12月14日
No.8
責任者

木更津支部宣部
青年部教宣部

12.11 総評青年中央協力会 中央総決起集会 に木更津支部青年部の名の圧倒的結集を勝ちとる！

我々労働千葉青年部は、労働本部反動集団の、なりふりかまわぬ妨害策動を、ものの見事に粉碎し圧倒的大明治公園に登場した。

日刊労働千葉10.29号を見るまでもなく、我々労働千葉のみならず県労連青年協力結集する級での労働者に敵対する、生たまぐを投げつけるという行為を働いた、全労働者の敵・革マルヒ労働本部・暴力反動集団を絶対に許してはならない。

12.3「本部反動集団」のオルグ粉砕



18-

12月3日午後2時頃、木更津支部に押しかけてきた、反動オルグ団は、なんとかして千葉地本再建情報なる、デマ情報をネタ々かしに血まなくとなり、撲殺をもつて介入運動を行ってきたが、我々の銃い追求行動の前に破産し四散てしまつたのである。

青年部員「お前らは何だ。おどとくの集会は、

オルグ団「水本集会ですか？」

青年部員「ふざけるな、総評青年協の集会

だ。生たまぐ投げつけておいて」

オルグ団「生たまぐなんか投げてない」

青年部員「なんだと。コノヤロー、とんでもない

ヤローだ。ふざけるな」

と、我々の職場から大々き出したのである。

労働本部反動集団はといえば、当局に泣訴し、今までにこんな事が

あつたのか等と、おどかし、はてには溝田沼事務所へ逃げかえるやいなや現場区長にまでナーバス電話をかけ、「明日行くぞ」なるナーバス電話の張本人、村上(前)関東青年部長なる反動分子など許しておくわけにはゆかない。

またこのおどしの「某管理」者は、我々の追求行動によつて大々き出した「本部反動集団」の大デマを信用し、我々青年部へ対し敵対するといつ事実が明らかとなつた。

お前が、それ程どうのなら、我々とも考えがある。

そのうち絶対に責任をとつてもううであるう。

我々の追求は、けつして消えるものではない！

青年部主催家族と共にスキーツアーアー

80.2.9～11

そして最後に、来年はもっと
うまくなろうとちかいあつた。



親子夫々白銀の世界にシユ
ブールをかいだ男とは、卓
を前に一息つく。かわいい
笑顔が爽らしい。

青年部主催家族と共にスキーツ
アーアーは、今回は宿泊部合でシャ
トーラー塙スキーリゾートに多数の青年
部員、家族が参加した。今回は、
新規で木更津支部に配属になつ
た館山の若手四人組が元気いっ
ぱい雪ダルマになりながら、が
んばっていたのが印象的であつ
た。

夜は交流会よろしく、大宴会を
催した。将来木更津支部を負
って立つ若手四人組は、昼も
夜も大ハッスル夜の宴会は、と
じる所を知らず、自分の未来、
職場の事、田舎の事、話題がつ
きない。



前略 昭和 火

NO.9
1980
2.28
責任発行

国鉄千葉動力車労働組合
木更津支部青年部教宣部

2月2日開催

定期委員会成功お祝ちとる

XXXXX・KISARAZU・KISARAZU・X・KISARAZU・X・KISARAZU・XXXX

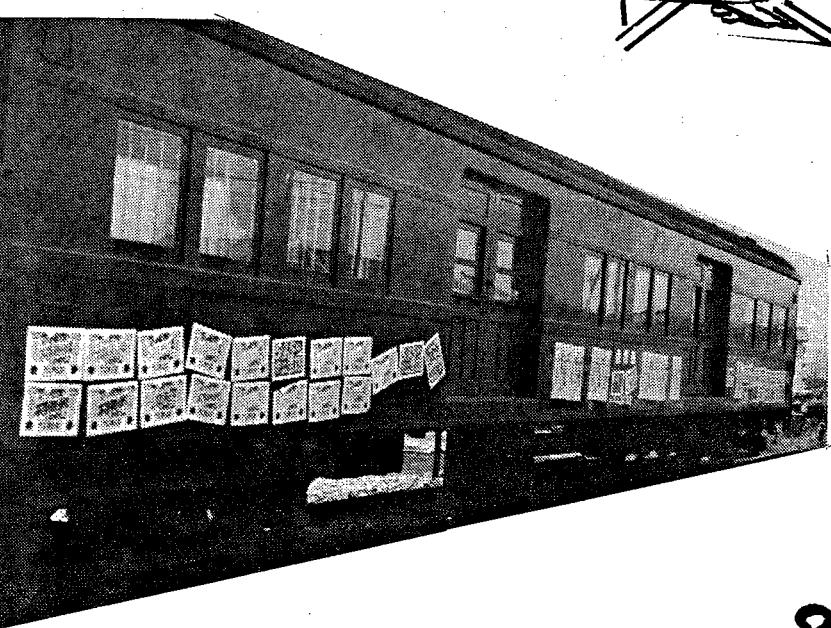
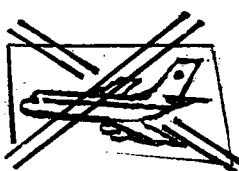
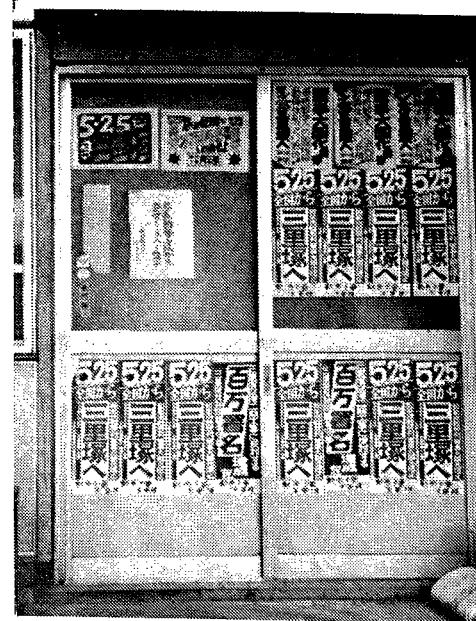
- 木更津支部青年部定期委員会は、支区講習室において、全青年部員が結集する中開催され、勝ちとられた。**
- 委員会には来賓として、本部田中青年部長と支部長、副支部長を招き、この間の状況をしつかりと認識し、内容上の充実をも図、次のである。
- ☆
- 第2回定期委員会の成功をバネに、さらに前進するのだ。
- 1 委員会は、まづ開会のあいさつのあと、司会者あいさつスローガン提起と続き、奇年部長から、この間の全青年部員の奮闘に対する感謝し、そして新春開に向けた決意が明かされた。**
- 青年部長あいさつのあと來賓のあいさつを受けて、経過報告、会計報告、議事へと進んでいったのである。我々は、この間の勝利の地平をバネに、さらに決起する。
- 3 質疑応答の中での中心的議論は、5万人体制一木原線ローカル線切り立て問題に対する木更津はどうなるのか、現実的話しはでていけるのか、久留里線の第3セクター化がありうるのかーであった。また労働本部オルグ団に対する対応、再建情報のデマ性等に質問が集中した。**
- 我々は、我々、自分自身の立場、職場の状況をしつかりと握り、聞かを構築しなければならない。
- 4 今、委員会で勝ちとられた、我々の特徴的な方針は—**
- (1)貨物合理化、ローカル線切り立て合理化に対する、住民投票と結合し、地域共闘関係の構築
 - (2)国鉄55万人体制攻撃の本質について理解を探め、聞いの方性を全青年部員に定着させると同時に、支部青年部独自の学習会を創造する。
- 我々、木更津支部青年部は、第2回定期委員会の成功をバネに、3.30三里塚へ決起する。

80.5.25 三里塚へ！

労働千葉青年部運動の新たな高揚を築いた
5・25三里塚・救済のハナ年代を向かえ、闘
いの拠点三里塚に結集するべく青年部はジラハ
リ行動を貫徹した。常に労働千葉の闘いは、
職場生産点の闘いから、練修道所には、いつ
もジラガはられていふ。

5・25三里塚へ！

不更稼支部は總決起した!!



動労千葉に対する違別的不當処分粉碎！

怒りのスローガン行動を貫徹

80.5.30

初めとした。



4・15春闘破壊渾田沼襲撃をめぐ
3・動労千葉本部・布施執行委員
をはじめとした大量不當処分攻撃
に対し、怒りに燃えた青年部は、
市営舍に敢然とジラハリ行動を行い、
久留里線及び本線にも全組合員の
怒りをぶつけたスローガン列車を
走らせた。動労「本部」反動暴力
集団と結託し反対・三里塚を闘う
動労千葉に対し組織破壊不當処分
をかけてきた・反動秋山千鶴局長
に対し局長追放のスローガンが大
書きされた・乗務員運用合理化を

ともいわれる
金と大量のオ
ルゲ団を投入
したにも関わ
らず、何も出
来なか、た動
労「本部」は、
当局に動労千
葉に対する処
分を願い出る
輩である。



全組合員の怒りをぶつけた
“スローガン列車”



動労大改革の道なのだ！

勤労千葉サークル協主催
養老渓谷ハイキング
80・6・1

勤労千葉サークル協主催のハイキングには、木更津支部は必ず組合員・家庭多數が参加して友好的を深めている。

河岸でビニールを広げてハイキングのハイキング風景。

ビールをつぐ手がしぶりがち

いかにも自分が飲みたとう！



この手でつかもう、明るい未来。
明日を樂く我らの闘い。



支部サークル協園芸部主催の
さつ木・松等展示即売会を会催

80.6.5

開への発展と共に支部サークル協
の活動も活発となつてきた。サー
クル協園芸部主催展示即売会を主
催した。園芸部長、サークル協役
員はバツクに並ぶさつまのようにな
る一ズをとつて明るい表情。組合
員が日頃心をこめて育ててきたさ
つきは、どれもすばらしい。
時に松は、勤勞千葉のように力強ひ。



- 24 -

木更津支部
サークル協及び園芸部役員

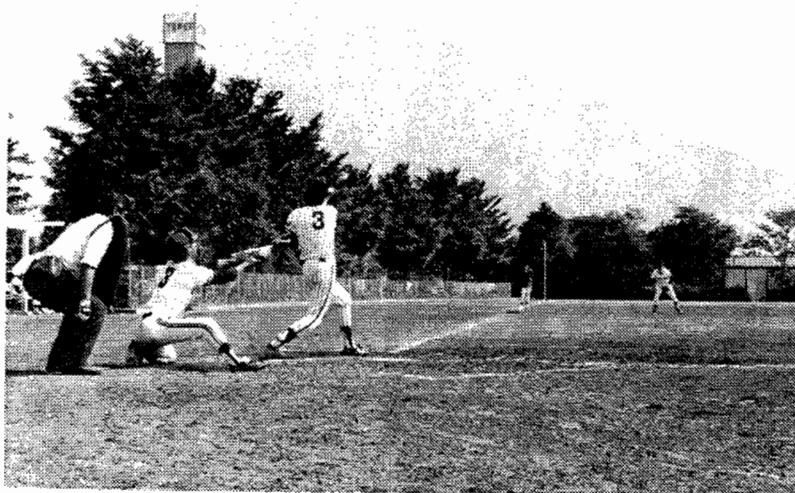


勤勞千葉のように松も力強ひ。

木更津支那野球部結成

80.6.8

十多年来の念願の野球部を結成。
この意義は大きい。意義は①青年
部員が増えたこと②若亟りが特に
目立ってきた。③来務員に青年部
員が誕生したこと。木更津支那部へ
全ての職種に青年部員が誕生、現
在中核的職種は検修である。そし
て結成後、二試合目で動労千葉ガ
ークル協主催の野球大会に出場、
前年度優勝チームの館山支那部チ
ムと対戦し、惜しくも二対一で
敗れたとはい、見事な団結力
を發揮し動労千葉の中に木更津
支那あり、とその意象をこし示
した。



我々の朝氣あふれるある日の職場の風景

我々青年部

気動車をバックに

ハイ・ポーズ!

所には常に突
いがある。冬
の時代などと
ほゞく勤労本

部＝草マル分
子などには、
とても想像ち
つかない事で
ある。我々の
職場は正反対
である。

壇原の火の

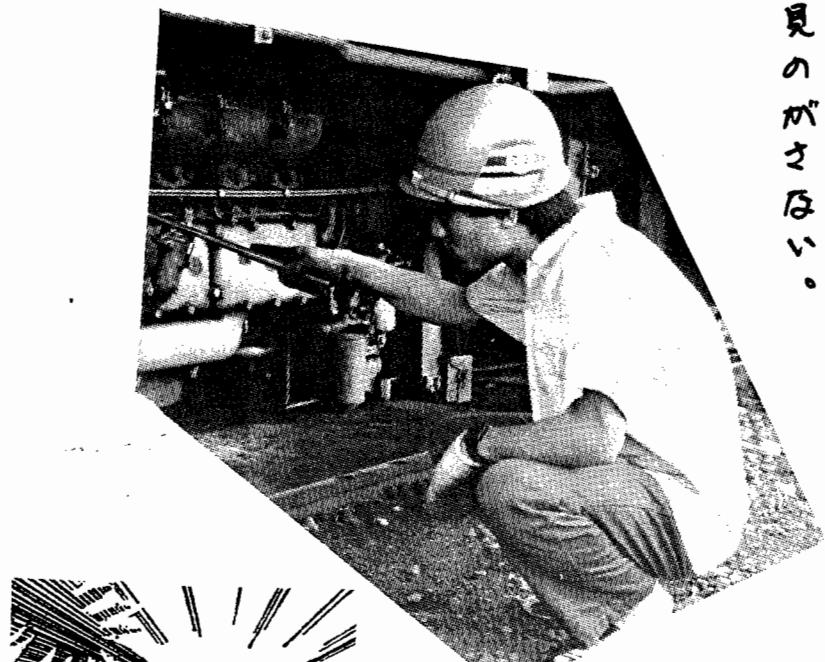
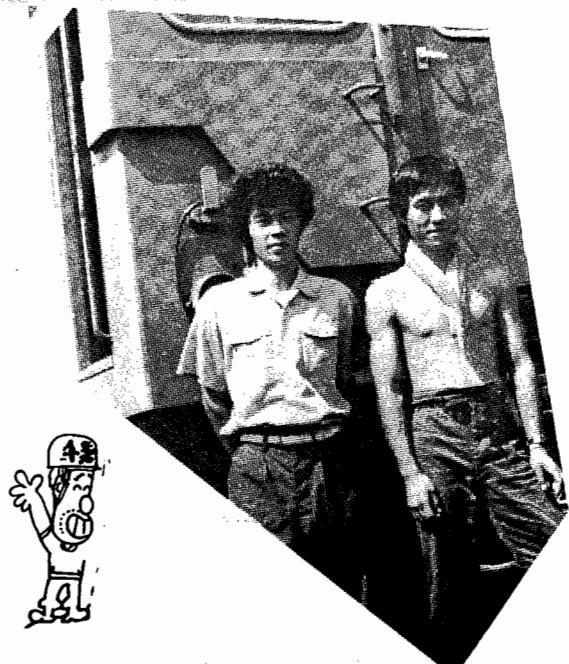
ごとく・まつ
かな紅蓮の炎※

火を上げて燃えさかっている。

長距離の検修にも力が入る。
この真剣な目付、故障箇所を
見のがさない。

この熱氣、この息吹、諸所内
には薄にジラ、各支部の青年

部機関紙等が、所狭しとは、
てある。



前照灯

No.1980 責任
13623 発行

動労千葉木更津支部
青年部 教宣部

動労本部反効集団による 「再建策動を許さな！」

潜入スパイ分子、鳴田誠、裏切り分子、土屋粹徹底弾劾！

久、15津田沼に春斗破壊を目的に、250名ものヘル部隊を動員し、竹ザオ、石をもさくみなぐりくみをかけ、我々の正義の反撃を受け粉碎されるや、国鉄当局に泣きつき、動労千葉布施執行委員の首切りをはじめ300名にも及ぶ不当処分を出してきた。

くの中にくそ動労「本部」反効暴力集団と国鉄当局の統一があるといえる。

乗務員運用合理化をはじめ国鉄30万人体制合理化攻撃に完全屈服し、動労千葉の半ば恐怖し、又徳とも5億ともいわれる金を使つてオルケ団を投入しながら何もできなかつた「本部」は、ついで当局と結託し、処分を通して動労千葉の組織破壊に力任せしてきたのだ。

そしてくの組織破壊の原因がどこにあるのかは明白である。

「津田沼特別班」の鳴田誠であり、佐倉支部において動労千葉に対する愚鈍な敵対者、土屋粹の存在である。

くらした愚鈍な敵対者を許し、「再建支部、再建地本」を許すといふことは、久、17錦糸町襲撃、4、19津田沼襲撃、久、15春斗破壊津田沼襲撃を容認する所である。

千葉への組織破壊、不当処分の最大原因がこの津田沼、新小岩、佐倉の裏切り分子にあるのだということを、我々は絶対に忘れてはならない。

動労千葉はくらした密集せる反撃を受けながらも不動でありし、かりと固執し前進している。

それはかりか全国の動労の良心的仲間達も舟伏、動労千葉支援、全国大会へと向け奮斗を開始している。

くの中で千局内裏切り、ダ落、腐敗分子をかき集め「動労本部」の「再建支部」なるものを、必死でチツキ上げようと画策しているという。

我々は「本部」草マル反効集団を、道理も正義も味もない当局のスパイニギ先として断罪しなければならぬ。くの中にくそ動労大改革の新たな地平が築かれるのである。

6、28津田沼に集結し、反効集団による「再建」策動を打ち碎くうではないか！

全金本山労組支援！

夏季物資販売協力お願いし
ます！

KISA

サークル協野球大会結果

館山2-1木更津

前回優勝の館山を苦しめ扳くも、残念ながら、今一歩及ばず惜敗、次回くそ優勝を！

後書きにかえて

我々青年部は、この間我々と青年部員數を増やし、今現在學園生員を含め、十七名の多さに達していふ。

発刊するにあたって、諸先輩、同の方々の多大な御協力をいただき大変ありがとうございました。

一九八〇年、六月一日に新青年部執行体制を確立し、激動の八。年代を裏向から受けとめ、全ての真に闘う労働者・學生・市民・農民、漁民と連帯し「万人は一人のために、一人は万人のために」と相共闘に奮闘し抜く。

そして、三里塚軍事空港を廻港へ

日本の大軍事化・海外侵略への道の一端を担う国鉄三十五万人体制合理化を粉碎してゆくだろう。そのためにも、定期的な學習会を開いて、理論武装をも二の間勝ち取ってきている。

労働者として、人間として、闘う國鉄労働者の敵労基マル粉碎!

労働干葉市施執行委員の首切りを初め二百八十九名に対する選別的不当処分粉碎!

再建干葉地本衆動粉碎!

千葉県不更津市富士見一一一一
木更津總閥支区内
午292
労働干葉木更津支部青年部
特別号